

市民活動・ボランティアを始めた人にも…

市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

2008年 6月号

平成20年5月25日発行
通巻114号

◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
男女共同参画・NPO室の
ホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティア
センター／津市市民活動センター／
分部食堂／(有)デザインオフィス萩
野 ●桑名市●桑名市市民活動支
援センター ●四日市市●四日市
市市民活動センター／寺子屋プロ
ジェクト／みえチャレンジプラザ
●亀山市●亀山市市民協働セン
ター ●鈴鹿市●市民ネットワー
クすずかのぶどう ●松阪市●三重
中央大学／松阪市市民活動センター
●伊勢市●特定非営利活動法人
伊勢志摩NPOネットワークの会／い
せ市民活動センター ●鳥羽市●
鳥羽NPOネットワークセンター・結
●名張市●名張市立図書館／名
張青年会議所／皇学館大学名張
キャンパス／名張市総合福祉セン
ター／エコリソート赤目の森／名張
市市民活動支援センター／くらしの
情報センター同夢 ●伊賀市●ウイ
リアム・テルズアップル まちづくり
センター／伊賀市中央公民館／伊
賀市立図書館／上野青年会議所／
伊賀市市民活動支援センター ●
明和町●めいわ市民活動サポートセ
ンター ●南伊勢町●南伊勢町町
民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボ
ランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市
町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店
／三重銀行各店／東海労働金庫各
店／第三銀行各店／メディカル光
各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール
／三重県地域機関(各県民セン
ター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、
松阪、南勢志摩、伊賀、尾鷲・熊野)
／三重県栄町庁舎(情報公開窓口)／
三重県総合医療センター／三重県立
一志病院／三重県立志摩病院／三
重県立こころの医療センター／斎宮
歴史博物館／三重県立博物館／三
重県立図書館／三重県生涯学習セ
ンター／三重県男女共同参画セン
ター『フレんてみえ』／三重県人権
センター／三重県身体障害者総合福
祉センター／三重県環境学習情報セ
ンター／各市町役場

ビジネスの取り組みに必要な初期経費(最大200万円)を支援します!! みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金 (財)三重県産業支援センター

この応援ファンド助成金は、多様な主体が、新しい時代の担い手として、地域の発想や工夫による特色あるビジネスを創出することを支援するものとして平成19年度に創設しました。応援ファンドの運用果実を助成財源とした「みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金」は、県内各地域において様々な地域の課題の解決や地域資源を活かしたビジネスを創出していくために必要な、初期段階の必要経費に対して資金面から支援します。

なお、今後の募集については、秋以降に二回目の募集を行う予定です。

1. 助成対象事業／地域課題の解決や地域資源の活用など、地域特性を生じたビジネスに新たに取り組む内容とします。
2. 助成率／助成対象経費の2/3以内としますが、支出に伴う消費税及び地方消費税は助成の対象となりません。

なお、助成額は、200万円を上限とします。最低助成額は50万円とします。

3. 応募対象者／(1) 創業者 (2) 新事業を行おうとするベンチャー企業、中小企業者
- (3) NPO、商工団体、大学、任意グループ等の中小企業以外で新事業を行おうとする者
4. 助成対象となる経費／助成事業を適切に実施するために必要な経費であって、次に掲げるものが対象となります。

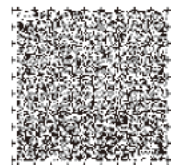
- (1) 委員、講師等外部専門家に対する謝金
- (2) 委員、講師等外部専門家又は事業実施に必要な役職員の旅費
- (3) 会議費、会場借料、資料・原材料購入費、印刷製本費、通信運搬費、広告宣伝費、備品購入費、機器等借損料、筆耕翻訳料、消耗品費、雑役務費等の事業経費
- (4) 当該事業に係るマーケティング調査等の委託費(その事業の全てを委託するものを除く)
5. 審査について／みえ地域コミュニティ応援ファンド審査会の委員により行います。一次審査は書類審査(申請書)を行い、二次審査(プレゼンテーション)に進みます。
6. みえ地域コミュニティ応援ファンドの組成について
 - (1) 組成総額／10億円の応援ファンドが組成されました。この運用果実により助成事業を行っていきます。
 - (2) 応援ファンド組成にかかる協力企業等の内訳について(企業名は50音順)
株式会社第三銀行／株式会社百五銀行／株式会社三重銀行／三重県信用農業協同組合連合会／独立行政法人中小企業基盤整備機構／三重県
 - (3) なお、本年度中に応援ファンドの組成規模を拡充する予定です。

その他、詳細は下記にお問い合わせ下さい

〒514-0004 三重県津市栄町1丁目891 三重県合同ビル5階
財団法人三重県産業支援センター
産業支援部 地域産業創造課 担当:中津・田中
TEL:059-228-3585 FAX:059-228-3800
E-mail:tisansou@miesc.or.jp
<http://www.miesc.or.jp/cb-fund/index.htm>

SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

はじめの一歩

これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

NPOの税金対策する?しない!

NPO法人はいわゆる実費の範囲内で運営されているものであれば、地方税である法人住民税の均等割(県税2万円、市町民税5万円)の減免申請を県税事務所と市町役場の税務課に出すところが多いようです。この申請が認められれば7万円分の税金を払う必要がなくなるというわけです。

しかし、別の考え方もあるそうです。それはある団体の代表の方の話で、かなりの労力をかけて税金対策のため収支をピッチリ合わせるよりも、税金を払うことを前提に会員や会費を集め、将来に向けた組織運営を行うことに力をいれて、下手な帳尻合わせはしないのだそうです。その話を聞いて、その方のしっかりとした考え方に驚かされました。

やはり、団体を運営するうえでは、税金対策ひとつとっても、いろいろな考え方があるといえるのではないのでしょうか。

三重県生活・文化部男女共同参画・NPO室 堀木俊哉

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
 【1】(1)お花畑(2)中司 治男(3)伊賀市朝屋780番地
 【2】(1)ミックスケアサービス(2)小岸 一昭(3)伊勢市小俣町宮前757番地
 【3】(1)日本アセアン交流協会(2)上田 正道(3)三重郡菟野町大字菟野8474番地186
 【4】(1)クローバー(2)江面 義男(3)松阪市山室町258番地
 【5】(1)大地の会(2)黒田 俊樹(3)四日市市八千代台一丁目一番地14
 (平成20年4月10日~平成20年5月9日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 町屋百人衆(平成20年4月10日)
 伊賀フットボールクラブ(平成20年4月16日)
 ありんこ工房(平成20年4月21日)
 まるごと三重情報センター(平成20年4月25日)
 アーティスト・サポートカウンスル(平成20年4月28日)
 (平成20年4月10日~平成20年5月9日届出分)

※関係書類は、三重県生活・文化部男女共同参画・NPO室に備え置いてあります。

持った者や家族が、交流や情報交換を通じ、つながりを持たない他の難病者の方にも生活の向上をしていただけるよう活動を続ける、当事者による支援組織です。地域で孤立し、他に相談するすべを持たず困っている難病の方に交流の場があることを知っていただくため、毎年県内を巡回しています。講師を招いての講演会や各種相談のほか、各難病の相談員が療養生活や生活相談をお受けします。

●問い合わせ先/514-8567 津市桜橋3丁目446-34 三重県難病相談支援センター Tel.059-223-5035 Fax.059-223-5064

【四日市まんなか子ども劇場】 大型カルタ遊びをしよう

- とき/6月7日(火) 10:00~12:00
 ●ところ/中部西小学校体育館
 ●参加費/一般500円、会員300円
 ●内容/絵本「たまごにいちゃん」のカルタの色塗りと、カルタとりバトル!

子ども文化NET主催「人形劇観賞」

- とき/6月29日(日) 12:00~
 ●ところ/四日市市楠ふれあいセンター
 ●参加費/2000円
 ●内容/人形劇団京芸による、うえだぼんたのみち草劇場「たまごにいちゃん他」を上演。

子育てサロン「お気に入りの一冊」

- とき/7月15日(火) 10:30~
 ●ところ/四日市まんなか子ども劇場
 みんなの居場所「きらり」
 ●参加費/一般300円、会員無料
 ●内容/おすすめの絵本を紹介してください。

●申込・問い合わせ先/四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670

第8回図書館活用講座

- 夢実現への道筋を図書館で描いてみよう!!
 ●とき/【第1回】6月7日【第2回】7月5日【第3回】8月2日(全て土曜) 受付13:00 13:30~16:30
 ●ところ/三重県総合文化センター文化会館大会議室他(津市一身田上津部田1234)
 ●内容/【第1回】「一歩先行く「先輩」の話を聞いてみよう!」【第2回】「自分の夢を具体化しよう!」【第3回】「簡単なビジネスプランを作ってみよう!」図書館の情報やサービスを活用して、夢を実現するステップを順を追って体験します。講座終了後も卒業生の勉強会・交流会を継続します。
 ●募集人数/全て先着順【第1回】50人【第2回】20人【第3回】10人
 ●申込方法/ハガキ、電話、Fax、E-mail。

イベントスケジュール

第1回 NPOフェスティバル 安心・安全なまちづくり

- とき/5月31日(土) 11:00~16:00
 ●ところ/お城西公園(雨天時:津センターパレス3階津市市民活動センター内) ●参加費/入場無料
 ●内容/NPOのことや団体の活動について多くの方に知ってもらおう企画です。「安心・安全なまちづくり」をテーマに、演奏や踊りなどのステージ発表や遊び・体験・飲食コーナーなどを設け、参加団体の活動を紹介。家族で楽しめるクイズラリーや津工業高校生徒作製のミニSL試乗、「津に来て戦隊ツヨインジャー」出演のほか、消防署によるミニ消防車やぬり絵のコーナーもあります。
 ●問い合わせ先/津市NPOサポートセンター(担当:豊田、多喜)Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201
 E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp
 ●主催/NPOフェスティバル実行委員会

三重県難病相談支援センター「難病相談会」

- とき・ところ/時間はいずれも13:30~15:00
 6月1日(日)三重県津庁舎/8月3日(日)四日市市勤労者福祉会館/9月7日(日)熊野市保健福祉センター/
 10月5日(日)三重県伊賀庁舎/11月1日(土)三重県伊勢庁舎
 ●参加費/無料・予約不要
 ●内容/三重県難病相談支援センターは、県内の難病を

●問い合わせ先/514-0061 津市一身田上津部田
1234 三重県立図書館 Tel.059-233-1181
Fax.059-233-1191
E-mail plan@milai.pref.mie.jp

川づくり会議みえ 第6回総会&記念講演会

- とき/6月14日(土)受付13:30 総会14:00~
- ところ/みえ市民活動ボランティアセンター「イベント情報コーナー」(津駅隣接アスト津3階)
- 参加費/記念講演会(資料代)100円、懇親会3000円程度
- 内容/総会の後、14:50から記念講演「郷土の巨人『河村瑞賢』の熱い眼差し」。講師は大西吉郎さん。懇親会は17:00より開催。
- 応募締切/6月7日(土) ●申込方法/E-mail
- 問い合わせ先/川づくり会議みえ(事務局:久世)
Tel.090-5637-0727
E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp

2008年度 第1回 日本笑い学会 みえユーモア支部笑例会

- とき/6月14日(土)開場13:30
14:00~16:30
- ところ/四日市市総合会館
(近鉄四日市駅から徒歩7分。四日市市役所西館)
- 参加費/一般800円、学生200円、会員無料
- 内容/腹話術や南京玉すだれ、落語などで楽しいひと時を過ごしましょう。予約・申込不要。
- 問い合わせ先/支部事務局(事務局長:中村ふみ)
Tel.059-232-6409、090-5621-6431
E-mail fu-min.64@s6.dion.ne.jp

明日のまちづくりを考えるシンポジウム

- とき/6月15日(日)開場13:00 13:30~16:30
- ところ/鈴鹿市文化会館けやきホール
- 参加費/無料(託児・手話通訳あり)
- 内容/ずっと住んでいたい魅力と個性あふれるまち“すずか”を創っていくためのまちづくりのルール(住民自治のあり方や進め方などを明らかにしたもの)を、市民のみなさんとお話するために堀尾正明さん(NHKの番組「難問解決!ご近所の底力」の元アナウンサー)の講演会「みんなが主役のまちづくり~あなたのまちから“すずか”を変えよう~」とパネルディスカッション「市民参加で鈴鹿が変わる!!~みんなでお考えようつくろう“すずか”の条例~」を行います。
- 募集人数/500人(先着順)
- 問い合わせ先/鈴鹿市生活安全部地域課市民活動グループ Tel.059-382-8695

<チャリティー事業> キカクカク?企画書講座 「助成金獲得のための企画書のツボ」

- とき/6月17日(火)18:59~20:45
- ところ/松阪市市民活動センター(松阪市日野町788)
- 参加費/社会人5000円、学生1000円 ※実費を除く全額を学生のNPO活動支援に役立てます。
- 内容/いい企画書を書くコツは、ラブレターの書き方と同じなのです。書き方を教えてもらえることが少ないのも、ラブレターと同じですね。この講座は、今まで助成金の申請をしたことがない市民活動団体や、何度も申請しているが採択されないNPOの方を主な対象にいたします。過去に採択されたラブレター(企画書)も参考までに公開します。講師は、正義の企画・チャンネルMの企画担当者です。

- 応募締切/第一次締切:5月31日 最終締切:6月16日
- 申込方法/E-mailか電話。E-mailの場合、件名を「6/17企画書講座・申込み」とし、名前・住所・年齢・性別・職業(または学年)・電話番号を送信してください。
- 申込・問い合わせ先/松阪市市民活動センター
Tel.0598-26-0108 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

初夏のドイツ料理教室

- とき/6月29日(日)
13:30~15:30
- ところ/アスト津5階「食工房」
(津駅隣接ビル)
- 参加費/材料費の実費
- 内容/初夏にふさわしい献立でドイツ料理を学びます。詳細はお問い合わせください。
- 応募締切/6月26日(木)
- 問い合わせ先/向井明子 Tel.059-232-0594
E-mail mukai@zvtv.ne.jp
- 主催/三重日独協会



ネットワークのよびかけ

- ### 中間支援組織担当者ネットワーク交流会 ~顔の見えるつながりを作りませんか?~
- 中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。
- 【協働勉強会】●とき/6月10日(火)13:30~16:30
 - 【交流会】●とき/7月9日(水)13:30~16:30
 - 問い合わせ先/W.T.Aまちづくりセンター
Tel.0595-24-7612

緊急支援 ミャンマー・サイクロン被災支援募金

ミャンマーを襲ったサイクロンが、甚大な被害を及ぼしています。ミャンマー国営放送によれば、死者2万2千人以上、行方不明者は4万1千人以上との報道がなされ、今後さらに死者・行方不明者が増えることが予想されています。ミャンマー政府は現在、各国に支援を要請していますが、軍事政権下、またインフラ整備の遅れたミャンマーにあっては、市民生活への深刻な影響が懸念されています。特に、地方の被災地にあっては、さらなる被害の拡大が予想

with student

三重県内で活動している、学生など若者たちのボランティア・市民活動団体をご紹介します。

めばえサークル

身体にハンディを持った人達との交流が中心的な活動です。
メンバーは三重大学や三重県立看護大学などの大学生が中心です。
ハンディを持った方が入所している施設や、入所者の皆さんと交流し、その中から得た体験を通して、いろいろな問題などを考え、理解するようにしています。
また、8月には1泊2日で恒例のサマーキャンプを開催します。

メンバー数	16人	活動地域	おもに津市内
-------	-----	------	--------

され、緊急の支援を必要としています。
NPO法人JAMBOF(日本・ミャンマー友情の掛け橋)は、草の根活動として、自らの目を見て、自らの手で皆様の支援を直接ミャンマーの被災者に届けるため、募金活動を行っています。募金は緊急の生活物資、医薬品、ミャンマー国内の輸送費に充てさせていただきます。皆さんの「心の募金」をお願いします。

●申込方法/郵便振替口座00810-8-134262

口座名称JAMBOF里親基金

備考に「サイクロン」と記入してください。

●問い合わせ先/NPO法人JAMBOF

(事務局:上村真由) Tel.0598-51-3741

車椅子でも利用できる観光バスをご存知ですか?



UD(スーパーグランドユーディー)『UD』は、すべての人のためのデザインを意味する「ユニバーサルデザイン」にちなんでいます。バスの中央にリフトがあり、車椅子に乗ったまま乗車できます。シートを車内で移動させることにより、最

大で車椅子4台の乗車(シート21席+補助席3)が可能で、名古屋、津、伊勢に1台ずつ配置されています。

後部2列をサロン席にすることができ、対面にしたり、広い空間が利用できるため、補助・介助や手話通訳にも便利です。また、乗務員のサービス介助士2級の資格取得を進めています。

●問い合わせ先/三重交通株式会社

観光営業部 Tel.059-229-5534



(鈴鹿市神戸地子町383-1)

●参加費/無料(テキスト代約3000円は自己負担)

●募集人数/手書きコース25人、パソコンコース15人

●申込方法/往復はがき。往復はがき裏面に、講座名「要約筆記奉仕員養成講座」、氏名(フリガナ)、性別、生年月日、住所、E-mail(パソコンコースは必須)、電話・Fax、希望講座(手書きまたはパソコン)、申し込んだ理由を明記。パソコン希望者の場合、使用OS、入力方式、かな漢字変換システムも明記のこと。

●申込・問い合わせ先/514-0003 津市桜橋2-131

三重県社会福祉会館5階 (社)三重県聴覚障害者協会

Tel.059-229-8540 Fax.059-223-4330



セーラビリティ津 平成20年度活動予定

セーラビリティ津では、障害を持つ人も健全者と一緒にセーリングを楽しみ、仲間づくりを行っています。体験希望者は練習会にいつでも体験できます。事前に下記まで連絡し、当日はハーバーの艇庫前に9:30までに来てください。なお、保険代として一人500円



いただきます。このほか、7月20・21日はセーラビリティ大阪10年記念アクセスレース大会。7月26日三重県アクセスデンギ大会、7月27日伊勢湾オープンヨットレースなどの大会にも参加します。

●とき/練習会の活動予定日は原則として4~11月の第1・3土曜日。ハーバー艇庫前集合9:30 乗艇10:00

●ところ/津ヨットハーバー

●問い合わせ先/セーラビリティ津事務局(辻ヶ堂 諦)

Tel.059-256-4727

フリーマーケット情報

フリーマーケットin四日市ドームVOL.27

●とき/6月22日(日)10:00~16:00

●ところ/四日市ドーム(四日市市大字羽津甲5169)

●入場料/前売315円、当日525円

●参加費/1階ブース4200円、2階ブース2100円

●内容/700ブースの大型フリーマーケット。ウルトラビンゴゲームも開催。

●主催・問い合わせ先/特定非営利活動法人MFA

Tel.059-320-0133 Fax.059-320-0134

E-mail webmaster@mfa.gr.jp

ホームページ <http://www.mfa.gr.jp>

●共催/レディオキューブFM三重

助成金 ニュース

緑と水の森林基金

●受付締切/6月15日(日)必着

●助成の対象となる団体/民間の非営利団体、法人、個人(調査研究に限る)。

●助成の対象となる活動/以下の重点項目に沿った4分野の事業(普及啓発、調査研究、活動基盤の整備、国際交流の)に対し、重点的に助成を行います。

【重点項目】

1「美しい森林づくり」「地球温暖化防止と森林」「地域材の利用」「森林と水」等の課題を中心とする総合的・効率的な普及啓発

2地域材の利用促進等山村資源の有効活用等による山村地域の活性化

3リーダーの養成等の森林ボランティア活動支援

4学校林活動など森林環境教育等による次世代の育成

5森林の公益機能、木質バイオマス、森林環境教育等に関する普及啓発・調査研究

●対象事業の期間/平成20年9月1日~平成21年8月31日

※森林ボランティア活動に対する理解とその社会的地位向上のため設定され

HANABIきれいボランティア2008募集

7月に伊勢市で開催される神宮奉納花火大会のゴミナビボランティアを募集します。募集対象は18歳以上の元気な方(高校生でも親権者同意があれば可)100名程度。活動内容は会場内エコステーションでのごみ分別案内です。報酬や交通費は支給しません(四日市方面は、無料バスでの送迎あり)が、夕食と飲物を用意します。また、ボランティア活動保険に加入していただきます。

●応募締切/6月27日(金)

●とき/7月19日(土)※荒天中止の場合は20日(日)、21日(祝日)に順次延期

活動時間は15:30~23:00頃予定。

●ところ/宮川河畔花火大会会場内(伊勢市中島)

●申込・問い合わせ先/伊勢市観光事業課 Tel.0596-

21-5566 E-mail kanko-jigyo@city.ise.mie.jp

ホームページ <http://www.ise-kanko.jp>

ハローボランティア・ネットワークみえ

ホームページ <http://www.hello-v.net/>

要約筆記奉仕員養成講座受講生募集

要約筆記とは、聞こえない・聞こえにくい人のために「話し言葉を書いて伝える」通訳です。手話がわかる聴覚障がいの方が意外に少ないなか、「文字」で書く「要約筆記」ならば、すぐに分かってもらうことができます。応募資格は聴覚障がい者に対する理解を持ち、要約筆記奉仕員として活動する意欲があり、全日程の80%以上出席可能な方。

●応募締切/6月10日(火)当日消印有効

●とき/7月5・19日、8月9・23日、9月6・20日、10月4・18・25日、11月8・22日、12月6・20日(全て土曜)

●ところ/鈴鹿市社会福祉センター

た9月第3日曜日の「森林ボランティアの日」に併せて、可能な範囲で事業の一部(または全部)を計画してください。

- 助成の額/限度は団体200万円(特別な事業は300万円)、個人100万円。
- 応募方法/申請書はホームページからダウンロードするか、返信用封筒に140円切手を貼付の上、下記まで請求。
- 問い合わせ先/(社)国土緑化推進機構
102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 Tel.03-3262-8451
Fax.03-3264-3974 ホームページ <http://www.green.or.jp>

緑の募金公募

- 受付締切/6月15日(日)
- 助成の対象となる活動/(1)一般事業…国内または海外で行う森林整備及び緑化推進の活動。
(2)特定事業…『1.花粉の少ない森づくり』『2.災害に強い森づくり』『3.耕作放棄地の森づくり』『4.MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト』
- 対象事業の期間/平成20年9月1日～平成21年8月31日
- 可能な範囲で、活動の一部または全てを「森林ボランティアの日」(9月第3日曜日)の前後1ヶ月の間に実施するよう計画してください。
- 助成の額/一事業につき限度300万円。(特定事業は100万円)
- 応募方法/応募要項などはホームページからダウンロード。郵送希望者は返信用封筒(120円切手貼付)に宛先を記入し、下記まで請求。
- 問い合わせ先/【国内で行う事業】
(社)国土緑化推進機構 募金業務部
102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 Tel.03-3262-8451
Fax.03-3264-3974 ホームページ <http://www.green.or.jp>
- 【海外で行う事業】
(財)国際緑化推進センター「緑の募金」国際緑化公募係
112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル
Tel.03-5689-3450(代) Fax.03-5689-3360

野村国際文化財団 芸術文化助成

- 受付締切/6月25日(水)必着
- 助成の対象となる活動/【(1)美術】既存美術館の開催する展覧会のうち、特に教育的色彩を重視するものに対する助成。その他美術教育に係る催事。【(2)音楽・オペラなど】オーケストラ、室内楽、独奏、合唱等の活動で教育プログラムを重視した催事への助成。音楽家の海外留学又は研修への助成。音楽普及と向上を目的とした国際的活動への助成。【(3)芸術文化の国際交流を目的とする活動や催事開催への助成】
- 助成の対象となる団体・個人/助成対象となる活動を行う団体および、個人。外国人の場合、日本国内における受入れ責任者(団体)が代わって申請。
- 対象事業の期間/下半期(平成20年10月～平成21年3月)の活動。上半期(4月～9月)の活動は12月25日に募集締切があります。
- 応募方法/申請書はホームページからダウンロード。手書き希望者はPDFファイル、パソコン入力希望者はEXCELファイルをダウンロードすること。郵送希望の場合は郵便、Faxなどで申請書の種類(A美術団体、a美術個人、B音楽団体、b音楽個人)、送付先住所、氏名および連絡先電話、Fax番号、E-mailアドレスを記入のうえ、下記まで請求。申請は郵送にて。
- 問い合わせ先/(財)野村国際文化財団 103-0027 東京都中央区日本橋1-9-1 Tel.03-3271-2330 Fax.03-3281-8522
ホームページ <http://www.nomuraholdings.com/jp/bunka-zaidan/>

丸紅基金社会福祉助成事業

- 受付締切/6月30日(月)消印有効
- 助成の対象となる団体/わが国における社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)を行う民間の団体。原則として非営利の法人。ただし、法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象となります。

- 助成の額/総額1億円をめぐり500件以上、1件あたり原則、上限200万円。
- 応募方法/所定の申込用紙、添付書類を送付。申込用紙はホームページからダウンロードするか、郵便番号と住所、団体名、担当者名、電話番号、Fax番号を明記し、ハガキまたはFax、E-mailにて下記まで請求。
- 問い合わせ先/社会福祉法人丸紅基金
108-0014 東京都港区芝5-20-6丸紅東京本社三田別館4階
Tel.03-5446-2474・2475 Fax.03-5446-2476
E-mail mkikin@marubeni.com
ホームページ <http://www.marubeni.co.jp/kikin/index.html>

平成20年度あしたのまち・くらしづくり活動賞

- 受付締切/7月22日(火)
- 助成の対象となる団体/【(1)住民活動分野】地域住民により自主的に結成され運営されている集団が、地域に即した発想・リーダーシップ・方法などの下、2年以上にわたって活動を行い、その成果が認められる活動など。【(2)企業の地域社会貢献活動分野・部門】地域社会において、企業、商店街連合会や企業組合などの企業連合体などが、本来の活動とは別に、企業市民として、地域社会に貢献する活動で大きな成果をあげたと認められる活動など。
- 助成の対象となる活動/【(1)住民活動分野】
1.子育て支援活動部門…地域の人々や企業、行政などと協力しながら、子どもも大人もホッとできる居場所づくりや子育て親育ちのサポート、体験活動、世代間交流、地域の「子育てネットワーク」づくりなどに取り組み、その活動を通じて、地域の絆づくりに寄与するなど大きな成果をあげた活動など。
2.まち・くらしづくり活動部門…次に例示するような活動に取り組み、その活動を通じて、くらしづくり・人づくり・地域づくりに大きな成果をあげた活動など。
(1)子どもの安全を確保するための見守りや遊び塾、放課後子どもの居場所づくり、寺子屋、地域の学校との協働などによる子どもの健全な育成等の活動など。(2)高齢者や熟年者の生きがいづくりや日常生活のサポート・ケアなどの充実に取り組む活動など。(3)町並みや棚田などの景観の保全や整備、放置自転車対策、コミュニティバスなど公共交通、公園など公共施設の整備による快適な生活環境をつくり出す活動など。(4)伝統芸能の継承や地域の歴史の掘り起し、劇団活動などの地域文化の振興、市民スポーツクラブの育成、健康体操教室による住民の健康づくりなどの活動など。(5)生ごみや廃食油のリサイクルなどにより、地域循環型社会をめざす活動など。(6)都市と農山漁村との交流活動や、地域資源を活かした特産品の開発等による地域産業を振興する活動や中山間地の元気まちづくり活動など。(7)防犯・パトロールなど各種の防犯活動やひやりマップ・防災マップ等などによる犯罪や災害に強いまちづくりの活動など。(8)その他、住み良い地域づくり・くらしづくり・ひとづくりを目指す活動など。
- 【(2)企業の地域社会貢献活動分野・部門】
企業や商店街などが自ら、また地域の人々と協力して、清掃活動など環境整備、地域緑化による自然保護、地域文化の振興、安全・安心な地域づくりなどに取り組み、大きな成果をあげた活動など。
- 表彰/内閣総理大臣賞(各部門1件 賞状、副賞)、内閣官房長官賞(各部門1件 賞状、副賞)、主催者賞(全部門を通して4件 賞状、副賞)、振興奨励賞(全部門を通して20～30件 賞状)
- 応募方法/「応募活動の概要」はホームページからダウンロード。応募原稿等の送付は、郵便、宅配便又はE-mailにて。
- 問い合わせ先/財団法人あしたの日本を創る協会「あしたのまち・くらしづくり活動賞」係 Tel.03-3251-6681
Fax.03-3251-6682 E-mail ashita@ashita.or.jp
ホームページ <http://www.ashita.or.jp/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



〈広告〉₅

株式会社から各種法人設立、許認可申請、契約書作成 NPO法人設立手続きのサポート

事業報告書等提出書、各種変更届等の作成もお手伝いします。

法務 よいよ

0120-406-414 (フリーダイヤル)

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC)
三重県津市本町14-18 第1奥山ビル202

〈広告〉

今特集 指定管理ってどうなってるの?

みえ県民交流センターの指定管理者制度導入へのステップ

平成21年度から指定管理者制度への移行を予定しているみえ県民交流センター（アスト津ビル3階）の指定管理者選定に向けたスケジュールがいよいよ動き出しました。

どんな風に管理者が決まり、運営が引き継がれていくのか、実際に関わっていないとわからないことも多いかと思えます。指定管理者の選定は、公開しながら進められていきますので、注目いただければと思います。

では、みえ県民交流センターの導入までのステップを紹介します。

※詳しくはNPOグループのホームページをご覧ください。

指定管理者制度とは?

指定管理者制度は、公の施設の管理に関する新しい制度として平成15年に創設されました。

多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図るとともに、経費の削減等を図ることを目的としています。

また、この制度により、企業、NPO法人等の法人、その他団体が公の施設の管理を行うことができるようになりました。

指定管理者の持つ創意工夫や専門性が生かされることが期待され、制度の導入が進んでいます。

みえ県民交流センター 指定管理者への移行のステップ（予定）

Step1: 事前準備

平成19年度 設置条例・施行規則の改正

Step2: 選定の体制づくり

平成20年

5月 選定委員会委員の公募・決定

6月 審査基準・配点表の決定・公表

Step3: 募集と選定・決定

7月 公募開始

8月 申請の受付と資格審査

9月 選定委員会によるヒアリング実施

10月 指定管理候補者の選定と結果の公表

11月/12月 議会に指定管理者の指定の議案提出

Step4: 契約と引継ぎ

平成21年1月以降 指定・協定の締結・引継ぎ

★★★ 平成21年4月 指定管理スタート!

問い合わせ先：三重県生活・文化部男女共同参画・NPO室NPOグループ <http://www1.mienpo.net/npot/>
〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 TEL 059-222-5981 FAX 059-222-5971 E-Mail seiknpo@pref.mie.jp

中間支援 中間支援組織担当者ネットワーク交流会

5月8日に開催された中間支援組織担当者ネットワーク交流会は、7団体12名が参加しました。

今回は、県商工振興室からコミュニティビジネス支援事業費補助金の説明や市民フォーラム21/NPOセンターの実施する予定のコミュニティ・ジョブセンター（※注1）事業について企画内容、現況をうかがいました。

また、伊賀市の地域自治活動、地域活動支援、市民公益活動へのマッチングギフトの取組み事例について質疑や意見交換をし、各地域の状況など情報共有を行いました。

毎回、集まるメンバーによって全国、地域、行政、市民活動等様々な話題があがります。

関心をお持ちの方は、ご参加をお待ちしています。



← 中間支援の仲間との
アットホームな話合いの場

次回日程については、「ネットワークのよびかけ」をご覧ください。

※注1
コミュニティ・ジョブセンター

厚生労働省がモデル事業として全国3カ所に「地域貢献活動分野促進センター（コミュニティ・ジョブセンター）」を設置し、定年を迎え地域社会に戻ってくる団塊の世代等を中心とした中高年齢者等が、積極的にNPO法人等を就業先として選択できる環境を整備するため、NPO法人等での雇用形態による就業又はNPO法人等の起業を希望する中高年齢者等に対し、NPO法人等に関する情報提供やNPO法人等での職場体験機会の提供等を行います。

問い合わせ先：W. T. A まちづくりセンター http://blog.goo.ne.jp/w_t_a_matisen/
〒518-0867 三重県伊賀市上野福居町3317番地 TEL 0595-24-7612 E-Mail nagi_47_4_3@yahoo.co.jp

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。車椅子レクダンス普及会でボランティアをしている岩根静栄さんが紹介してくれたのは、ホームステイ・イン津実行委員会の植田さん。定年退職後、オーストラリアに語学留学するなど、アクティブに活動しています。

世界中の人々を受け入れて20年

……ホームステイ・イン津実行委員会（以下、ホームステイ・イン津と略）はいつ設立されたのですか？

1989年です。この年は津市市政100周年で、その記念事業として国際フェアが開催されました。その時に、来日された外国人の方を受け入れるホームステイの呼びかけが津市からありました。それに応じた市民有志で、設立されました。

……活動内容は？

三重大学を中心に、県や市の依頼によるホームステイの受け入れ事業を主体に、ワイワイガヤガヤフェスタというイベントを毎年行うなど、国際交流事業等も行っています。会員は約130名。会員はもとより、多くの市民の方々に国際交流に接する場を提供して、国際交流の必要性を理解していただければということ趣旨にして活動しています。

……ホームステイ先はどうやって決めるのですか？

会員の中で受け入れ先になっているのが40家族ぐらいあります。それらと留学生の方とのマッチングを事務局の方で考えます。ゴールドウィークに名古屋大学の留学生が日本の家庭を体験するというカリキュラムがあり、その受け入れ先もマッチングしました。

……ホームステイを受け入れるのは大変だという印象があるのですが？

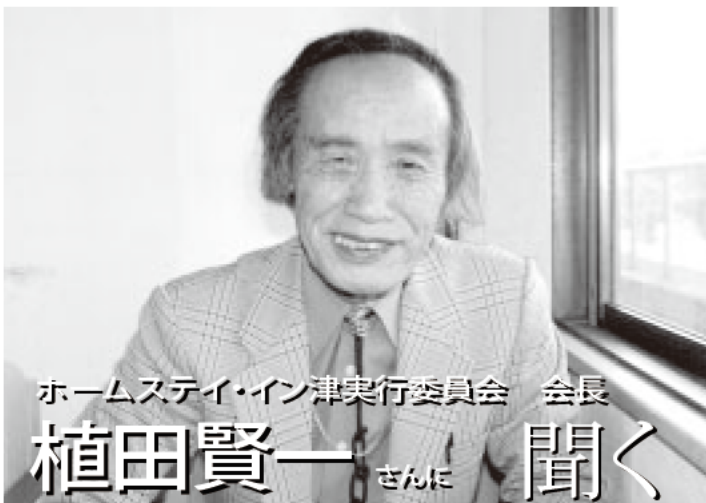
お客様ではなく、ファミリーの一員として、気軽に受け入れてくれればいいですよ。特別なことは一切、していただくなくて構いません。受け入れる側が気を遣っていると、長続きしませんから。

……ホストファミリーになるための秘訣などはありますか？

最初に必要最低限の家のルールを教えなくてはいけませんね。例えば「出かける時は声を掛ける」とか。それ以外は自由にしてくれていいと教えます。日本人の感覚で「言わなくてもわかるだろう」というのではなく、最初にきちんとすることが長続きの秘訣です。

……受け入れの研修はありますか？

特別に研修はありませんが、受け入れの際に説明会を行いますので、そこでお話します。



ホームステイ・イン津実行委員会 会長

植田賢一 さんに 聞く

……お話を聞くと、それならできそうだと思いますね。受け入れた方に感想を聞くと、ほとんどの方が「外国の人と接して、他国のことがわかって良かった」「また、やりたい」とおっしゃってます。

……ホームステイされるのは、どの国の方が多ですか？中国、韓国、タイなど、東南アジア系が多いです。もちろん、欧米の方もいます。20年間で40ヶ国以上、のべにする600人以上が、ホームステイしたのではないかな。

……国民性の違いで難しいこともあるのでは？

宗教上の問題で食べられる物が制限されていると、少し気を付けなくてははいけません。

……ホームステイ・イン津が設立された頃と今とでは、国際交流の状況が劇的に変化していると思いますが？

在住外国人が増えましたね。それによって文化や習慣の違いで、トラブルになることもあります。ホームステイの場合もそうですが、日本人と外国の方とでは文化が違うのだから、考え方も違います。その立場の違いによって相手が理解できず、「だから外国人は困る…」と感じる人も多いのではないのでしょうか。例えば、以前三重県に留学していたブータン人が津を訪れることになり、彼がメールしてきた予定表を見て、ステイ先に連絡をしたところ「何も話を聞いていない」という返事が返ってきました。それで私がブータンの彼に「きちんと確認しなさい」と返信したところ、彼は「理解できない」と言うのです。彼が言うには「僕がブータンに帰る時に、みんないつでも遊びにおいで。泊まっていいたらと言ったのに、なぜ断るのか」と。日本人からすれば、「いつでもおいで」という言葉は、社交辞令ですから、言葉通りには受け取りませんよね。その辺の見解の違いを理解しなくてはいけません。ホームステイ・イン津では国際交流活動を行っていますが、会員や市民の方が外国の人と接する場を設けることで、相互理解を図り、トラブルを避けることができると考えています。

……どのような交流活動があるのですか？

在住外国人を中心に企画するワイワイガヤガヤフェスタを年1回開催するほか、料理教室や交流会を行っています。今年は3月25日に交流会を行ったのですが、三重大学の留学生や在留外国人も集まって、いろいろ話し合いました。

60歳の手習い!?半年間、語学留学へ

……植田さんが国際交流に興味を持ったきっかけは？

20年ほど前ですが、高校生だった次女が派遣留学生としてオーストラリアのパーズに留学し、一年間ホームステイしました。戻ってきた時に「ホームステイ先のホストファミリーにすごく親切にしてもらった」と感激していきまして、帰国してからホームステイ・イン津の通訳のようなことを少しお手伝いしていました。私としても、娘が受けた恩をお返ししたいなと思い、ホームステイin津に入会しました。それが1990年のことです。

……娘さんが留学を志すということは、元々、植田家は国際交流への関心が高かったのですか？

そうでもないですね。娘が留学してからです。オーストラリ

アのホストファミリーとは、今でも家族ぐるみのつきあいをしていて時々パースへ遊びにも行きますし、こちらに遊びに来ることもあります。実は会社を定年退職した60歳の時に一念発起して、私も半年間、語学留学しました。その時も、この方たちの家庭にホームステイしたのです。

……語学留学前の英語力は？

最初はカタコトでしたね。半年間の留学で、一人で旅行しても不安がない程度になりました。細かなニュアンスはわか



各国の音楽やダンスなどを楽しむワイワイガヤガフェスタ。

外国の人と接する場を設けることで、相互理解を図り、トラブルを避けることができます。

りませんが、日常会話ならまずまずわかります。留学したての頃はホストファミリーが話をしている、話題すらわからなくて、先方が気を利かして「今は、こんな話をしています」と教えてくれました。それが半年ぐら経つと、話している単語がわかるようになるので、それをつなぎ合わせれば、だいたいの話の流れがわかるようになりました。

……留学の不安は？

娘から話しも聞いていましたし、ホストファミリーもよく知っていましたから、全然不安はありませんでした。外国でホームステイというと、いろいろ心配されると思いますけど、ホストファミリーは大事にしてくれますし、学校へ入ればすぐにクラスメイトができます。きちんと英会話ができなくても、カタコト英語と身振りで通じます。そうやって話しかけているうちに、相手も話してくれるようになりますね。治安の面でも、オーストラリアは日本とそんなに変わりません。体格的にも北欧の人に比べて、身長は低めなので、威圧感も感じませんでした。

……語学学校での生活は？

もの凄くモテました(笑)。1クラス8名くらいですが、ドイツ、スイス、イタリア、韓国と出身国はいろいろ。でも、年齢は18~30歳ぐらいの人が多いので、私は目立ちましたからね。なかでもスイスで看護師をしていた女の子は、教室は自由席なのに、いつも私の横に座ってましたよ。

……授業は難しかったですか？

授業で使えるのは英語だけです。英語で、英語の勉強をするので、最初は戸惑いましたね。分からないことがあればすぐに辞書をひいたり、質問するしかありません。でも、学校側は親切ですよ。私より数ヶ月遅れて、日本から来た男の子がいたのですが、「ほとんど英語がしゃべれないからサポートしてやってくれ」と言われました。それで授業内容を日本語で説明していたのですが、そのうちに「これでは上達しないから」と、学校の先生と彼とでマンツーマン授業をす

ることになりましたね。

……どんな授業をするのですか？

宿題のほかに、毎日、日誌を書いて提出しました。その内容を授業で隣の人に話し、それを次々に送っていく伝言ゲームのようなこともしました。最後には内容が全然変わってました(笑)。ヒアリングの勉強になりますね。

……ヒアリングと話すこと、どちらが難しかったですか？

ヒアリングですね。話すのは自分で考えて話せばいいですから。あと、あまり文法を気にしていると話せないです。

……留学しても日本人だけで固まってしまって、あまり語学が上達しないという話もありますか？

私の通っていた学校にも日本人が10名ほどいましたが、私はあまり彼らと話しませんでした。せっかく海外に来たのですから、できる限り、他の国の方とコミュニケーションを取りたいと思っていましたから。

……ホームステイ先での生活は？

ステイ先の夫妻はお勤めされていますから、私が一番遅く家を出て、一番早く帰ってくる。朝食を自分で取って、学校へ行き、戻ってきて夕飯の支度をして、三人で食べる。そんな生活でした。

……食事は植田さんが作られていたのですか？

ほとんど、ご主人が作ってくれましたね。日本料理が食べたい時に、私がオリエンタルフードの店で材料を買って、寿司や煮魚を作ったりしました。オーストラリアでは魚の調理法は焼くか、ポイルするか。煮魚は非常に好まれましたね。

……半年間、人の家に住むのは気を遣うのでは？

冷蔵庫も勝手に開けるし、気を遣ったりはしなかったですね(笑)。

……留学にしても、ホームステイ・イン津の活動にしても、外国の方と親しく接することで、世界中に友だちができますね。

今は電子メールがありますから、非常に便利になりましたね。15年前に預かったスウェーデンの子はクリスマス時など、今でもメールを送ってくれます。留学先で仲良くなったスイスの子もよくメールをくれますね。

ホームステイ・イン津実行委員会

514-0003 津市桜橋2丁目85

Tel.&Fax.059-227-5886

植田賢一さんはこの人を紹介します。

大野木博久さん

ハンディを持つ人と一緒にディンギー(小型ヨット)を楽しむNPO法人海の達人の代表者です。



在留外国人の方にお国自慢の料理を教えてください。料理教室。

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA/JA三重県連

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp 転載を希望される場合は必ず男女共同参画・NPO室に連絡してください。

R70 PRINTED WITH SOY INK

古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。